

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

海外視察ツアーのご案内

第36回・第37回定例セミナー報告

10月の定例セミナー

海外視察ツアー詳細

9・10月の活動・参加申込書

Vol.24 2009年9月1日発行

■発行・編集／㈱農業技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局(担当:長谷川)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698



『農業経営者』読者の会 海外視察ツアー

2009年11月14日(土)～11月21日(土)8日間

農業ビジネス大陸・アフリカに行く

ケニア農業視察ツアー

アフリカ市場は今、農業・食品関連分野において海外企業の注目を集めております。特に、ケニアなど東アフリカ諸国の園芸農産物は、2005年からバラの日本市場での販売量が急激に拡大していることもあり、本誌の読者からも注目されています。

視察の中心となるケニア中央州は、赤道直下で日照量が多く、昼夜の温度差があり、全域が海拔1800m前後の高地が広がる地域です。主な視察先としては、ケニアナツ社(農場と加工工場、オーガニック資材事業)、輸出向け花卉農場、輸出向け野菜農場などを考えております。

ケニアナツ社は佐藤芳之氏が1974年に創業、現在は従業員4000人がすべてケニア人です。最近ではナツやコーヒーを生産

加工して輸出するだけでなく、ケニア国内市場向けのオーガニック資材事業などBOPビジネスも始めています。また輸出向けの野菜や花卉農場は、歴史的に英国やオランダなどの農業投資を集めてきた結果です。西欧向け野菜の産地としては和食・中華レストラン向けの日本アジア野菜ビジネスの可能性もあるでしょう。

但し、アフリカはビジネス環境整備に、依然として多くの問題を抱えているのも事実です。そこで今回はサブテーマとして米国や西欧ではなく、敢えてアフリカを中心に日本や世界を見つめ直すことを提案します。経営者・ビジネスパーソンの視野拡大のために、これまで疑問なく信じてきた世界観や価値観へ、別の理解ができる視点を持っていただければ幸いです。【詳細は中面をご覧ください】

写真提供
左上:ジェットロ
左下:ジェットロ
中下:(株)セレクトィー
右上:孫剛暁氏

第36回定例セミナー報告

トマトの価値を高めるために～野菜の機能性を追及する研究開発～

カゴメ(株)総合研究所商品開発研究部長 川地真由氏

トマトにしかない価値を抽出す

ることで使い方の幅を拡大できる

セミナーDVD
9月1日発売

「私たちカゴメは約100年、トマトとお付き合いしています。しかし、まだまだトマトの持つ価値を伝え切れていない。その価値を認識して、どれだけお客様に伝えているのかを考えながら、現在技術開発をしております」

7月24日の定例セミナーでは「トマトの価値をもっと高めるために～野菜の機能性を追及する研究開発～」と題してカゴメ(株)総合研究所商品開発研究部の川地真由氏にお話頂いた。

トマトには大きな価値がある。甘味・酸味・旨みをバランスよく含み、調味料や飲料として使える点、次に食欲をそそる安定した赤い彩りを持つ点、そして多様な加工が可能な点である。

トマトの生産量は全世界で年間370万トン、増加傾向にある。一人当たりの年間消費量は94年13kgから04年16kgと122%増となっている。一方、日本では同期間に109%増で、04年でも9.1kgにすぎない。トマトの消費に関しては日本は後進国であるといえる。

その現状の中、カゴメ(株)ではトマトの価値を高めるために、いくつかの視点を

持つて研究開発を行っている。その一つが成分を分離し、新素材を作り出す分画技術だ。繊維質からはトマトパルプ、香味成分からはトマトエキスを抽出する。

さらにトマトのすべてを活かす廃棄ゼロの全量利用技術を使い、絞りたてのジュースの香りに近いトマトフレーバーも開発している。当日は実際にサンプルが用意され、新商品のジュースとともに、フレーバーも実際に手に取ることができた。

「トマトから必要なものだけを抽出することが可能になり、その使い方の幅がさらに広がっています」



トマトフレーバーのサンプル

第37回定例セミナー報告

数字を利用した農業革命～他産業では当たり前だった定量を農業で～

(有)アグゼス 代表取締役社長 岡本信一氏

あいまいさが
農業の産業化を
阻んでいるのですセミナーDVD
9月30日発売

8月7日の定例セミナーは、(有)アグゼス代表取締役の岡本信一氏に「数字を利用した農業革命～他産業では当たり前だった定量を農業で～」と題してお話を頂いた。

pH、ECなど農業の現場でも多くの指標が存在する。だが土壌分析するだけでは、その畑の持つ基本的な生産能力はわからない。また新しい資材や技術でどれくらい収量や品質が改善するのかもわからない。そのあいまいな状態を、同氏は工業との比較で説明した。

「やってみなければわからない、とよく言います。しかしそれは工業に例えると、工場を建てたが大体どれくらい

作れるかわからない、新しい機械を入れたら何がどれくらい良くなるかわからない、という状態なんです」

同社では、まず改善目的に合わせて関係性の高い指標を特定する。例えば目的が収量なら、収量に関係のある3～4の指標を絞り込む。それから各指標と収量の相関関係を数学的に分析して、何をいつどのように改善すれば、どのような改善結果が得られるのかを定量的に算出する。

「その結果、この畑ではまず株間を均等にすべきとか、土壌は化学性より物理性の改善をすべきという具合に改善項目を明らかにできるのです」

2009年10月 定例セミナー

第41回

10月23日(金) 16:00~18:00

会場:株農業技術通信社内セミナールーム

東京農業大学客員教授/千葉大学大学院名誉教授

本山 直樹氏 (もとやま・なおき)

農薬登録問題の現場から ～登録制度の現状と、合理化への提案～

農薬業界は官主導のハイコストな農薬登録制度から抜け出せないままである。食の安全の名のもとに、合理化がなござりにされたシステムは、天下りの温床を作りだし、農薬の価格上昇という形で農家を圧迫している。10年間に渡って農薬登録問題の現場に携わった本山直樹氏が、登録制度の現状と、時代に即した新システム導入の意義を解説する。



PROFILE

1942年生まれ。千葉大学園芸学部卒業。名古屋大学大学院修士課程修了後、ノースカロライナ州立大学に留学、10年間農薬毒性学の研究に従事する。1998年、農林水産省の農業資材審議会農業分科会委員に就任。その後、同会の会長を務め、2008年退任。著書に『農業学事典』『農業実験法』『毒性生化学』など。

海外視察ツアー詳細

■ご旅行代金(お1人様):544,800円(2名様1室の場合)

* 上記旅行代金には成田空港施設使用料、現地空港税、燃油サーチャージ(目安:15,000~40,000円8/18現在)が含まれておりません。別途お支払いください。

■ご旅行期間:2009年11月14(土)~11月21日(土)8日間

●海外視察ツアー日程

月日曜	都市名/滞在地名	現地時間	交通機関	摘要	食事条件	
11月14日(土)	東京(羽田) 東京(羽田) 発 大阪 大阪 発	18:30 20:30 21:45 23:15	EK6251 EK317	ご集合 空路、乗継便にてナイロビへ 関空乗り継ぎ	朝 昼 夕 機 機 (機中泊)	
11月15日(日)	ドバイ ドバイ ナイロビ	着 発 着	5:35 10:45 14:55	EK719 専用車	ドバイ乗り継ぎ 到着後、専用車にてホテルへ ホテルチェックイン ホテルにて夕食	機 機 ○ (ナイロビ泊)
11月16日(月)	ナイロビ ティカ	午前 午後	専用車	ケニアナッツ社訪問 マカダミアナッツ農園、コーヒー農園、加工工場 オーガニック肥料事業を視察	○ ○ ○ (ナイロビ泊)	
11月17日(火)	ナイロビ ティカ	終日	専用車	野菜輸出業者(KHE社)、野菜生産農場(Sunripe社)、 野菜輸出業者(Kakuzi Limited社)を視察し、 西欧向け日本アジア野菜ビジネスの可能性を探ります ※視察先は変更の可能性もございます。	○ ○ ○ (ナイロビ泊)	
11月18日(水)	ナイロビ ナクル湖	午前 午後	専用車	Kiambu紅茶農園を車窓見学 ナクル湖へ移動 ナクル湖国立公園で動物サファリツアー	○ ○ ○ (ナクル湖泊)	
11月19日(木)	ナクル湖 ナイバシャ ナイロビ	午前 午後	専用車	バラ農場 出荷場視察1 バラ農場 出荷場視察2	○ ○ ○ (ナイロビ泊)	
11月20日(金)	ナイロビ ナイロビ ドバイ	午前 発 着	16:40 22:40	EK720	GAP認証機関、JETROケニア事務所を訪問 ※訪問先は変更になる可能性もございます。 空路、乗継便にて帰国の途へ	○ ○ 機 (機中泊)
11月21日(土)	ドバイ 大阪 大阪 東京(羽田)	発 着 発 着	3:10 17:30 19:15 20:25	EK316 EK6252	ドバイ乗り継ぎ 関空乗り継ぎ 到着後、解散。お疲れ様でした	機 機 (機中泊)

※上記スケジュールは変更の可能性がございます。

【時間】 午前 08:00~12:00 午後 12:00~17:00
終日 09:00~18:00

【利用予定航空会社】 EK: エミレーツ航空

【食事条件】 朝: 朝食、昼: 昼食、夕: 夕食、機: 機内食、一: なし

■食事:朝食5回 昼食5回 夕食5回(この回数に機内食は含まれておりません)

■最少催行人数:10名 ■添乗員:成田空港より1名同行致します。

■利用予定日本発着航空会社(エコノミークラス):エミレーツ航空

■利用予定ホテル(2名様1室利用)

ナイロビ:ナイロビサファリアークホテル

ナクル湖:レイクナクルロッジ

ナイロビ:ナイロビサファリクラブ

■募集締切:9月28日(月)

※詳しい旅行条件を説明した書面(パンフレット)をお渡しいたしますので、
まず右記宛までご請求頂き、事前に確認の上、お申込下さい。

<視察企画> 株式会社農業技術通信社

<旅行企画・実施> 近畿日本ツーリスト株式会社 東京西法人旅行支店

観光庁長官登録旅行業第20号、(社)日本旅行業協会正会員、ボンド保証会員、
旅行業公正取引協議会会員

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-19-1 ビッグス新宿ビル5階

TEL: 03-3341-0924 FAX: 03-3341-0925

担当:ケニア農業視察ツアーデスク 営業時間:月~金曜日 9:15~18:00

※土日祝日はお休みです

管理番号:044909081038-K-BSP

第39回 **9月18日(金)** 16:00~18:00
 会場: (株)農業技術通信社内セミナールーム

ベルグアース(株) 代表取締役社長

山口一彦氏 (やまぐち・かずひこ)

業界の常識を変える
～野菜苗トップシェア企業の技術と経営～

野菜苗は農家が自家育苗してきたが、「接ぎ木」という付加価値と日本全国翌日着という仕組により、ベルグアース(株)は野菜苗の常識を変えた。さらにアースストレート苗やヌードメイク苗のように輸送コストを大幅に抑えた苗を、全国に供給することで更なる躍進を目指している。同社代表の山口一彦氏が、業界の常識を変える技術と経営を語る。



PROFILE

1957年愛媛県生まれ。96年南山口園芸を設立。2001年研究開発・営業販売部門を独立させ、ベルグアース(株)を設立、産学官連携による閉鎖型苗生産システムに関する研究を開始する。02年第10回国際園芸技術展にて貯蔵型ヌードメイク苗を発表。06年閉鎖型苗生産システム14基を導入し、現在21基で運用中。

第40回 **10月2日(金)** 16:00~18:00
 会場: (株)農業技術通信社内セミナールーム

ロジスティック(株) 代表取締役社長

嶋 正和氏 (しま・まさかず)

FTAが本当に日本の農業を潰すのか?

衆議院選挙を契機にFTAが注目されている。しかしFTAがなぜ日本に必要で導入を考えるのか、本当に日本の農業を潰すのか、そういった「FTAとは何なのか」という理解が不足している。コメ778%が代表する非常識な関税のなかで安楽死するのか、それともファイティングポーズをとって攻めの農業を目指すのか。この機にFTAの理解を深めたい。



PROFILE

1987年ボストン・コンサルティング・グループ入社、情報システム・ロジスティクス関連プロジェクトを経験。95年ネットワーク・エクスプレス入社、物流会社にマーケティングと戦略の導入を実施。98年ロランド・ベルガー入社、ロジスティクスの包括アウトソーシングを核とした改革コンサルティング。2000年株式会社ロジスティック設立。現在に至る。

◎セミナー参加申込

■参加を希望する項目に して、必要事項をご記入下さい。

月刊「農業経営者」
 定期購読者 **無料**

〈セミナー〉

〈セミナー終了後の懇親会〉

- 9/18 (金) 山口一彦氏 (16:00~18:00) 参加 (18:00~20:00)
- 10/ 2 (金) 嶋 正和氏 (16:00~18:00) 参加 (18:00~20:00)
- 10/23 (金) 本山直樹氏 (16:00~18:00) 参加 (18:00~20:00)

*セミナー受講料は定期購読者無料、一般参加者5,000円です。
 *セミナー終了後には、懇親会(会費 1,000円)を予定しております。

◎第3回 全国大会資料請求 2010年2月19日(金)~20日(土)開催

◎海外視察ツアー資料請求 農業ビジネス大陸・アフリカに行く ケニア農業視察ツアー

◎定期購読申込

■いずれかに して、必要事項をご記入下さい。

- 1年(12冊) 18,000円
送料サービス!
- 2年(24冊) 33,000円
お得な3,000円割引!
- 3年(36冊) 45,000円
お得な9,000円割引!

*本誌セミナー(年22回)参加料込(一般5,000円/回)
 *本誌セミナー全音声ダウンロード(年22回)込(一般視聴不可)

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail	FAX	
<input type="checkbox"/> セミナー音声聴講パスワード希望		
ご住所 〒		

お申込方法 FAX **0120-410-359** まで送信してください。
 (『農業経営者』HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます)

お問合せ/(株)農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局 TEL 0120-555-184

*セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様までです。2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円をいただきます。予めご了承下さい。